

学校教育目標	「自ら考え、挑戦し続ける子ども」 ～チャレンジ桜井～				
	【知】 目標に向かい、自ら考え粘り強く学び、豊かに表現する子を育てます。 【徳】 礼儀や規律、人のかかわりを大切にし、児童が互いを大切にできる心を育てます。 【体】 望ましい生活習慣を身につけ、自分の心と体を鍛え、健康と生命を大切にすることを育てます。 【公】 横浜を愛し、地域とふれあい、人・もの・ことを大切にし、進んで社会にかかわる子を育てます。 【開】 視野を広げ、様々な課題に気付き、主体的に考え行動しようとする子を育てます。				
学校概要	創立 42 周年	学校長 金子 祐治	副校長 清野 正康	2 学期制	一般学級：12 個別支援学級：3
	児童生徒数： 313 人		主な関係校： 本郷中学校 本郷小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	○○中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈表現力〉  〈自分づくりに関する力〉	本郷中学校 本郷小学校 桜井小学校	自らのよさや課題に気づき、ねばり強く挑戦を続け 自他ともに心豊かに生きようとする児童生徒  ○教育活動全体を通して「豊かな心の育成」を自指し、ブロッグとしてカリキュラムづくりの工夫・改善を進める。  ○これまで大切にしてきた特別支援教育の視点を継続させ、支援者等の接点を継続・改善する。

中期取組目標	1 学校教育目標を実現するために、児童のチャレンジを支え、教職員もチャレンジし続ける学校づくりをめざします。 ○児童の表現力を高めるとともに、主体的・対話的で深い学びのできる授業改善に努めます。(算数科の研究を通して) ○教職員が人権意識を高め、自分も他の人も大切にできる心を育み、「ひとりの子どもを大切にすること」を常に心がけます。 ○教職員が互いに研鑽、連携、協力できる運営組織の確立と、風通しの良い職場づくりをめざします。
	2 地域や保護者と連携、協働して、社会に開かれた教育課程の実践をめざします。(学校運営協議会の効果的な運営)

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	○算数科の重点研究を通して、めざす追求・表現する姿を明確にして、支援のあり方を研究し実践を重ねる。 ○教師一人一人が目標をもち、授業力向上をめざす。
担当	重点研究部	
徳	人権教育	①個々の違いに気づき、認め合うことから、他者への思いやりの心を育成する学びを継続して推進していく。 ②道徳の学習を充実させ、日常の生活にある効果的な教材を通して、自分も相手も大切にすることができるようにする。
担当	人権・道徳部	
体	健康教育	①家庭と連携し、規則正しい生活習慣の取組を継続していく。健康課題については学校保健委員会で取り上げ、子ども自身が健康意識を高め、主体的に健康づくりができるようにする。②体力向上を図るために、毎週水曜日に35分の昼休みを設定し、運動時間を確保する。
担当	保健・体育部	
公開	自分づくり教育	①地域で体験できる機会を積極的に設け、自分の思いを表現したり、自分の成長を実感できるようにする。 ②「自分づくりパスポート」の内容を見直し、キャリア形成を見通すことができる内容にしたり、子ども自身の変容が成長を感じられるようにしたりする。
担当	キャリア教育担当・特活部	
いじめへの対応		①いじめを「小さい芽のうちに摘む」ことを意識し、児童の心情に寄り添いながら、早期発見・早期解決に努める。 ②月1回以上の定期的ないじめ防止対策委員会の実施や、年2回のY-Pアンケートを通して、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで、再発防止に努める。
担当	児童指導部	
児童指導		①「桜井スタンダード」が児童の実態に一致するものかどうかを確認しながら改善し、全職員で声をかけ、学校生活を安心して送れるようにする。②Y-Pを活用し、多面的な児童理解と具体的な支援を実践する。③不登校児童、家庭のニーズをしっかりと引き出し、こまめな連絡と支援を考え、学びが継続できるようにする。
担当	児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		①校務分掌の組織が改編されるので、早めに計画を立て、効率的な運営を図る。データや資料をPC上の共有フォルダやファイルにどしどし、情報の共有を図る。 ②月に1回のメンター研修を行う。各教科の主任を講師として、学習のポイントや評価の仕方、あゆみの記入などについて学び、指導力を高める。
担当	教務部	
地域学校協働活動		①学校運営協議会の2年目なので、テーマを決めて意見交換を行うなどして内容を充実させ、会の話合いがより学校経営に反映できるようにする。 ②本校のボランティア活動のあり方を見直すとともに、CDNを中心に活動を再開し、地域との連携をさらに深める。
担当	教務部	
特別支援教育		①会議や研修を通して確認した支援方法を全職員で共有し、学校全体で児童一人ひとりを見る体制づくりを推進する。 ②作成した個別の教育支援計画をもとに、具体的な支援教材を整備し、特別支援教室を充実させる。
担当	#REF!	
		b10
担当		